

「入居申し込み電子化 仲介会社経由も対応」

入居申し込み電子化  
仲介会社経由も対応

ビレッジハウス

ビレッジハウス・マネジメント（東京都港区）は11月22日、不動産仲介会社経由の入居希望者を対象に申し込みから契約までの手続きを完全電子化したと発表した。

同社は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が民間に雇用促進住宅を売却したものをグループ会社が一括取得してリノベ後に賃貸住宅として運営している。

同社へ直接入居申し込みを希望するだけでなく、不動産仲介会社経由の入居希望者も含めて、全入居希望者に電子契約を適用する。入居希望者と不動産仲介会社の双方にとって紙での申込書の出力

や、記入後の再PDF化などの必要がなく、ペーパーレス化で手続きにかかわる負担を軽減できる。自社開発した電子申し込みシステムを使うことで、CRM（顧客関係管理）システムとのデータ連携も可能とする。

ビレッジハウスでは、足元で10万5510戸の賃貸住宅をビレッジハウスブランドで展開している。新規の入居申込者は年間約2万4000件に上る。個人の約6割は不動産仲介会社の紹介といい、手続きも仲介会社ごとに違っていた。今回の完全電子化は、22年6月導入の直接取引での申し込みの電子化に続く取り組みとなる。23年中に電子申し込みの英語、ベトナム語、ポルトガル語などの多言語対応を目指す。